工業会活動

平成28年航空機生産額は前年比1,415億円の減額

経済産業省が2月14日に公表した機械統計（確報年計値）に基づき、平成28年の航空機生産額（暦年値）を集計した。その結果、総額は前年比1,415億円（7.8%）減の1兆6,809億円となった。平成25年から増額に転じて以降、平成27年まで過去最高の生産額を毎年更新していたが、平成28年は減額となった。

内訳は、防衛向けが前年比456億円減の4,731億円、民間向けが958億円減の1兆2,077億円となっている。

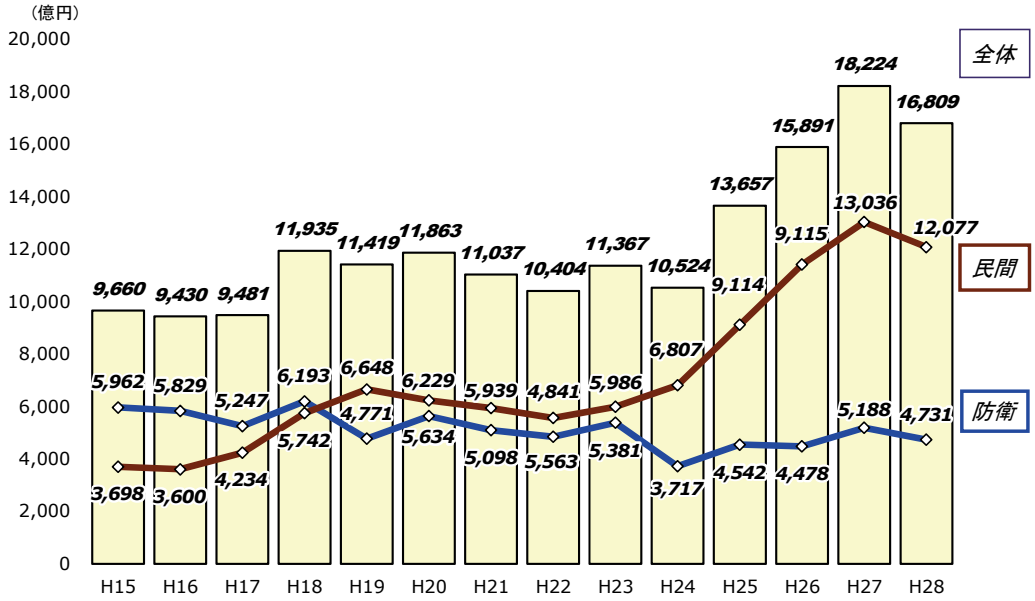
品目別にみると、機体の生産額は、防衛向けが機体修理等の減により昨年実績を745億円下回る2,647億円、民間向けが主力のボーイング777の生産減等により昨年実績を1,066億円下回る7,020億円となったため、機体全体では前年より1,812億円（15.8%）減の9,667億円となった。エンジンの生産額は、防衛向けが298億円の増、民間向けが135億円の増となり、エンジン全体では前年より433億円（7.8%）増の5,968億円となった。また、その他機器（付属品・通信機器等）の生産額は、前年より37億円（3.1%）減の1,174億円となった。

また、全体額の防需と民需の比率は28%対72%と前年と同じレベルとなったが、平成19年以降連続して民需比率が50%を超える状況が続いている。近年、民間航空機の国際共同開発案件で、ボーイング社等の受注増大に伴う生産機数の拡大が図られていることから、民需比率が増大する傾向にあったが、今年も民需比率の増大傾向の定着を確認することとなった。

なお、平成28年の品目別防需比率は、機体関連27%、エンジン関連 19%、その他機器79%となっている。

上記のように、平成28年の我が国の航空機生産はここ数年の増勢基調に歯止めがかかることとなった。今後については、防衛向けでは予算の制約等により調達機数の大きな伸びは望めないが、P-1固定翼哨戒機やC-2輸送機及びF-35戦闘機の量産に伴う調達が継続しつつあり、安定的な生産が期待される。しかし、民間向けではボーイング社の受注機数が27年、28年と2年連続して減少しており、また、日本企業が参画する主力機種であるボーイング777及び787の平成28年末の受注残高も減少している。こうした状況を踏まえると、今後の航空機生産の動向は注視する必要がある。

航空機／国内生産額推移



H27年とH28年の区分別比較

（億円）

区分			H27年 確定値（H28.6月）			H28年 確報年計値（H29.2月）			差（H28－H27）		
			防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計
製造	機体	本体	1,009	31	1,040	544	44	588	△464	13	△452
		部品	1,110	7,717	8,827	1,125	6,672	7,798	15	△1,045	△1,030
		小計	2,119	7,749	9,867	1,669	6,716	8,386	△449	△1,032	△1,481
	エンジン	本体	119	2	121	244	0	244	125	△2	123
		部品	514	4,116	4,630	638	4,343	4,980	123	226	350
		小計	633	4,118	4,751	881	4,343	5,224	248	224	473
	その他機器		771	233	1,004	769	204	974	△2	△29	△30
	合計		3,523	12,100	15,623	3,320	11,263	14,584	△203	△836	△1,039
修理	機体	本体	814	160	974	553	146	699	△261	△15	△275
		部品	460	177	637	424	158	582	△35	△19	△54
		小計	1,273	337	1,611	977	304	1,281	△296	△33	△329
	エンジン	本体	206	536	741	257	442	699	51	△94	△43
		部品	20	23	43	18	27	45	△2	5	3
		小計	225	558	784	275	469	744	49	△89	△40
	その他機器		166	40	206	159	41	200	△7	1	△6
	合計		1,665	936	2,601	1,411	814	2,225	△254	△122	△376
全体	機体	本体	1,823	192	2,014	1,097	190	1,287	△725	△2	△727
		部品	1,570	7,894	9,464	1,549	6,831	8,380	△20	△1,064	△1,084
		小計	3,392 （30％）	8,086 （70％）	11,478 （100％）	2,647 （27％）	7,020 （73％）	9,667 （100％）	△745	△1,066	△1,812
	エンジン	本体	325	538	862	501	442	943	176	△96	80
		部品	534	4,139	4,673	655	4,370	5,025	121	231	352
		小計	859 （16％）	4,677 （84％）	5,535 （100％）	1,156 （19％）	4,812 （81％）	5,968 （100％）	298	135	433
	その他機器		938 （77％）	273 （23％）	1,211 （100％）	929 （79％）	245 （21％）	1,174 （100％）	△9	△28	△37
	合計		5,188 （28％）	13,036 （72％）	18,224 （100％）	4,731 （28％）	12,077 （72％）	16,809 （100％）	△456	△958	△1,415

（注）四捨五入の関係から、合計、小計は必ずしも一致しない　　（出典：経済産業省 生産動態統計）

〔（一社）日本航空宇宙工業会　業務部　杉原　康二〕